

ビスカイノ探検の地名一覧 (牡鹿半島)

スペイン語表記	発音	スペイン語地名	港湾の状態	村上直次郎説	須藤光興説	仙台市史説	遠藤光行説
condaque	コンダキ コンダケ	Santa Margarita	1000ト以上の船停泊可能	小竹			
Chiquimora	チキムラ	San Felipe	コンダキに劣らない良港	月浦	桃浦または福貴浦		
Guindazu	ギンダズ	Salinas	安全なことにチキムラに同じ	清水田	鹿立 (狐崎浜)	不明	鹿立
Onbara	オンバラ			大原			
	クブルチの海上に数島あり		港は安全にして障害物なし。航海誌にいかなる船も昼夜入港できることを記すべし	田代島、砥面島、網地島			
Cubruchi	クブルチ	Magdalena		小淵			
Urangana	ウランガワ			女川			
Ichibama	イシバマ	San Anton	良港	石浜			
Uragi	ウラジ	Santo Tomas	良港	浦宿	疑問あり		

出典：
村上直次郎『ビスカイノ金銀島探検』（興国叢書、駿南社）
須藤光興『伊達政宗の黒船』文芸社ビジュアルアート
同『ビスカイノの三陸沿岸調査考』（西田耕三『セバスチャン・ビスカイノ金銀島探検記』耕風社）
『仙台市史 慶長遣欧使節篇』
遠藤光行『「つきのうら」の真実』藩山房
*各説で村上説に異論がない場合は空欄にしている

宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

ひらかわ あらた
平川 新

未来への航路

牡鹿半島の
スペイン語地名寄り付きのよきそうなる
浜々を見て回ったので
しよう。

マニラからメキシコ
に向かうスペイン船の
寄港地を探すため、ビ
スカイノは徳川家康と
伊達政宗の許可を受け
て、仙台領内の港湾調
査に向いました。塩竈
から出発して松島、石
巻を見て回り、牡鹿半
島に入ります。

ビスカイノによれ
ば、コンダキ、チキム
ラ、ギンダズ、複数の
島、イシバマ、ウラジ
の六か所がスペイン船
の停泊が可能な港、あ
るいは良港だと記され
ています。すべての浜
を視察したということ
でもなさそうです。

で、地元民や藩の役人
の案内で、太平洋から

告』（昭和16年）の翻
訳を出版した村上直次
郎氏の解釈です。しか
しその後、須藤光興氏、

②4ビスカイノ、牡鹿半島を回る

『仙台市史 慶長遣欧
使節篇』、遠藤光行氏
などから地名の一部に
ついて異論が出されて
います。

『石巻の歴史』第
2巻、413頁。人
口が多いほうが港が大
きいという考え方なの
でしょう。たしかに人



ビスカイノ探検の(推定)地名一覧(牡鹿半島)

ビスカイノが書きと
めた地名とコメント、
それと各氏の地名の解
釈を一覧にして表にま
とめてみました。これ
をもとに検討してみま
しょう。

口は桃浦の方が多いの
ですが、チキムラとモ
ノウラとでは発音に
大きな違いがありすぎ
るのではないでしょう
か。月浦でよいのでは
ないかと思っています。

小竹から女川まで

最初のコンダキ(ま
たはコンダケ)は、い
ずれも小竹浜という解
釈で一致しています。
1千ト以上の船の停泊
が可能だとしています
から、太平洋を行き来
していたスペインの大
型ガレオン船でも十分
に停泊できると見込ん
だようです。

次のチキムラは、村
上氏、仙台市史、遠藤
氏は月浦ツキノウラ
で一致していますが、
須藤氏は小竹からの距
離や戸数からみて桃浦
の可能性もあるとして
います。戸数というの
は元禄11年(1698
年)の月浦の戸数が
294人であるのに対
して、桃浦が462人
という記録に拠って
いるのだと思われま

身。東北大学名誉教授。
昭和25年、福岡県出
身。東北大学名誉教授。
昭和25年、福岡県出
身。東北大学名誉教授。



東北大学災害科学国際
研究所の所長などを経
て、平成26-31年度ま
で宮城学院女子大学学
長を務めた。専門は日
本近世史、歴史資料保
全学。令和4年4月に、
3代目のサン・ファン
館館長に就任した。